用語集

	用語	用語説明
1	ＩｏＴ	Internet of Things（モノのインターネット）の略。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すというコンセプトを表した語である。
2	クラウド	情報システムのハードウェア、ソフトウェア、データなどを外部のデータセンター等において管理・運用し、ネットワーク経由で利用できるようにする取組のこと。
3	ＡＩ	Artificial Intelligence の略。人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。
4	ＲＰＡ	Robotic Process Automation の略。定型的なパソコン操作をロボットにより自動化する技術のこと。
5	デジタル・ガバメント	デジタル技術の徹底活用と、官民協働を軸として、全体最適を妨げる行政機関の縦割りや、国と地方、官と民という枠を超えて行政サービスを見直すことにより、行政の在り方そのものを変革していくこと。
6	デジタル手続法	情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律（平成 14 年法律第 151 号）のこと。
7	地方税ポータルシステム（ｅＬＴＡＸ）	地方税における手続きを、インターネットを利用して電子的に行うシステムのこと。
8	セキュリティポリシー	企業や組織において実施する情報セキュリティ対策の方針や行動指針のこと。
9	特定個人情報	マイナンバー（個人番号）を含む個人情報のこと。
10	ＩＳＤＮ	Integrated Services Digital Network の略。総合デジタル通信網。電話、電信、データ通信、ファクシミリなどの異なる通信サービスをひとつのネットワークをデジタル形式で統合的に提供するサービス。
11	情報リテラシー	情報を使いこなす能力。体験やメディアを通じて得られる大量の情報の中から必要なものを探し出し、課題に即して組み合わせたり加工したりして、意思決定したり結果を表現したりするための基礎的な知識や技能の集合である。
12	ＣＭＳ（コンテンツ管理システム）	Contents Management System の略。専門的な知識がなくてもウェブサイトの管理・更新ができるシステム。

13	ウェブアクセシビリティ	障害者や高齢者などの条件に関係なく、誰もが同じようにインターネット上で提供される情報を利用できること。
14	テレワーク	コンピュータやネットワークの技術を駆使して、勤務場所や勤務時間の制約を受けずに仕事に取り組む新しい働き方。
15	グループウェア	企業など組織内のコンピュータネットワークを活用した情報共有のためのシステムソフトウェアである。ネットワークに接続されたコンピュータ（のユーザー）同士で情報の交換や共有、またスケジュール管理等の業務に利用される様々な機能を通じて、業務の効率化を目指したもの。
16	デジタルディバイド	パソコンやインターネットなどの情報技術を使いこなせる者と使いこなせない者の間に生じる機会や収入等の格差。個人間の格差の他に、ＩＴ環境の地域間格差として用いられることもある。
17	ユニバーサルデザイン	障がいの有無、年齢、性別、人種などにかかわらず、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること。
18	ＳＮＳ	Social Networking Service(Site)の略。個人間の交流を支援するサービス（サイト）で、参加者は共通の興味、知人などをもとに様々な交流を図ることができる。
19	ＩＣＴ	Information and Communication Technology の略。通信技術を活用したコミュニケーションを意味する総称のこと。